

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 2月 14日

公表: 令和 4年 3月 8日

事業所名 こどもデイサービスぽると

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12			県の規定を十分満たしている レクリエーションと課題を取り組む部屋を分けている
	2	職員の配置数は適切である	12			県の規定を十分満たしている 職員研修も行っており、職員の質の向上を高めている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	11	1		賃貸物件であるが、できる範囲で子供たちが使いやすいように配慮し
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	4		申し送りや職員研修時に話し合っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12			アンケートを参考に、支援の見直しを行い職員間で共有している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12			ホームページで公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			12	第三者評価を行っていない。今後検討していく。
8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12			定期的に研修を行い、支援の技術の向上を図っている 必要に応じて、外部研修にも参加している(虐待など)	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	12			担当者(児童発達管理責任者)がアセスメントの実施を行い個別支援計画を作成している 作成した計画を現場職員が理解したうえで、支援が行えるよう情報の共有を図っている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12			研修等で、状況の把握を行っている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	10	2		プログラム立案の担当を決め、非常勤職員からも意見をいただいている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12			色々な経験が出来るよう、企画・実施している 今後も、子供たちが楽しく活動に参加できるように工夫していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	12			一日の流れがわかるようにして、その中で個別に対応している
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	12			個別課題、集団活動の時間を組み合わせて実施している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12			活動前に申し送りの実施を行っている また、欠勤等で参加できなかった職員が後日、申し送りの内容を共有できるように記録を残している
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12			職員の退勤時間が異なるため、翌日の申し送りで兼ねている 当日中に解決が必要な場合は、職員間での連絡を取り合い行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12			連絡帳の記入を行っている 突発的に生じた事柄については、別途記録をとり職員間で共有、支援の改善を図っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	12			担当者(児童発達管理責任者)が定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しを行っている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	12			ガイドラインに基づいて支援活動を計画している

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12		児童発達支援管理責任者が会議に参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	12		各学校の年間行事予定を事業所で確認している 保護者の方と連絡を取り合い、行事や下校時間の変更の確認も行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10	2	医療的ケアが必要な利用者はいないが 契約時にかかりつけ医の情報をもらい連絡のとれる体制を作っている
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8	4	相談支援事業所、児童発達支援事業所からの情報提供で 情報共有ができています
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6	6	障害福祉サービス事業所から依頼があった場合には迅速に対応して
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	12		外部の発達支援センターから講師を招き、研修を受けたり、実際の支援について助言をしていただいた
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	8	4	公園等、屋外活動時、地元の子供たちと交流を図っている コロナが収束したらまた行っていきたく思っている
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	7	担当者がこども部会等に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		メール、口頭、連絡帳などでその都度伝達している
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	6	必要に応じて情報の提供を行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	1	契約時説明を行っている 変更等生じる場合は、口頭、メール、書面で説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	3	相談があった場合、面談の機会を設けている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		12	コロナ禍により開催できていない 今後は状況を見て開催していく予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10	2	重要事項説明書に明記し、契約時に説明している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	12		ブログやお便りを発信している
	35	個人情報に十分注意している	12		鍵付き書庫を使用している ブログ等の写真は顔など本人とわかる情報を隠している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12		それぞれに合った手法を用いて、意思の疎通や情報伝達を行っている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		12	コロナ禍により開催できていない 今後は状況を見て開催していく予定

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	12		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12		業者を入れての避難訓練、防災設備点検を行っている 訓練は年2回以上行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		内部研修や、外部研修を行い職員意識を高めている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	12		職員間で、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うか話し合いを行っている。対象となる生徒の家族には説明の上、同意を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		契約時に確認している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12		ヒヤリハットの対象となる事案については、本人の証言をもとに検証し、再発防止に務めている